

慶蔵院寺報

公孫樹

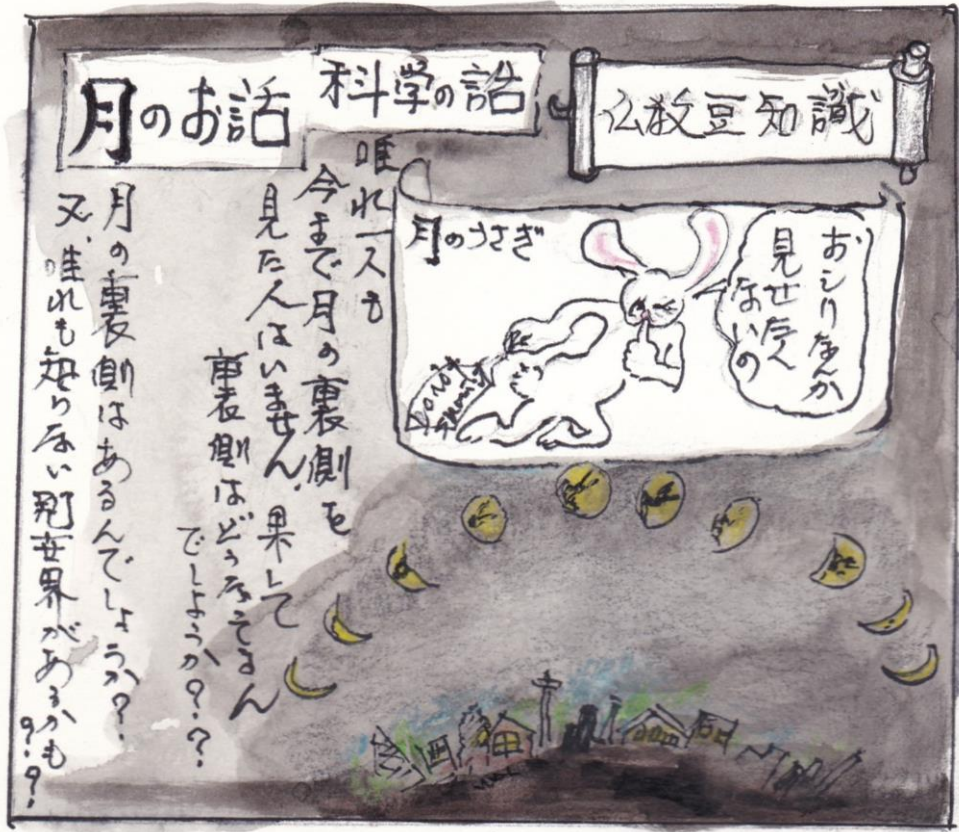
2021年5月発行

第112号

浄土宗慶蔵院

伊勢市小俣町元町 1211

TEL 0596 (22) 3726



月のお話 科学の話 西里定一 画

子どもは育つ 「ここや塾」お別れ会



三月三十日、「てらこや塾」の卒業式には、子どもたち、保護者、職員、高校卒業の先輩たちが参加しました。朝から保護者の協力をいただいて用意された弁当の数は五十食。コロナで会食は中止し、持ち帰っていただくことになりましたが、心のこもったお祝ひ弁当は、毎年、大好評。卒業生は三名。進路が決まって、新しい高校生活の出発に胸膨らませます。

この卒業生たちの目標になってもらおうと、今年高校を卒業した「てらこや塾」OB・OGに来てもらって話をしてもらおうことも恒例となりました。在校生にとっても、ためになる話をしてくれそうです。

T君は小学校四年生の時に井村屋に勤めていたお父さんを亡くしました。なかなか勉強が進まないT君、でも彼の口癖は、「僕は高校を卒業したら、お父さんが働いていた井村屋に就職するんや」でした。「てらこや塾」の先生は、「この成績では…」と心配でした。

そのT君が、用意してきたメモも見ることなく、堂々と、こう話してくれました。

「僕はてらこやで勉強していた時は、平均三十点くらいでしたが、高校に入ってから、一生懸命に勉強したので平均八十点になりました。そして井村屋に就職することが出来ました。みなさん、しっかり勉強してください…」と。

S君は、てらこや塾に七年通ってきた子です。よく遊びました。木登り、タケノコ掘り、石をならべて池造り…、体も小さくて痩せていました。そのS君が話しました。

「僕はてらこや塾で、遊んではかりいて勉強をしませんでした。勉強をしなかった僕だから言えます。勉強は大切です。勉強をしっかりしてください。僕は高校に行って、いろんな資格をとる勉強をしました。パソコンの資格も取って、パソコンの会社に就職することができました。」と。

5月の行事予定



5日(水)	写経 映画会	午前10時～ 午後7時半～
9日(日)	花まつり	午前10時～
12日(水)	念仏会	午後7時半～
19日(水)	健康教室 歩き方教室 講師 馬場久美子先生 男性詠唱隊	午後1時～ 健康教室・歩き方教室 参加費500円 午後7時半～
25日(火)	戦没者慰霊	午前11時～
26日(水)	読経会	午後7時半～
14日・28日(金)	茶道教室 講師 河井宗恵先生 樋口宗恵先生 田島宗紀先生	午後7時～子ども茶道教室 午後7時半～大人の茶道教室 ※ 子ども無料 大人500円.
13日(木)	ともいき英語サロン 講師 三浦邦昭先生	午前10時～11時半 午後1時半～3時 参加費1000円
予約があれば水曜日	キサンシンギングボウル ヒーリング	要望に応じて30分～60分

慶成院豆知識

9

涅槃図の修復

本堂の屋根の修復と内部の修繕が済むと、掃除専門の職人さんが、天井から柱まで徹底的に拭きあげていきました。さああと少し...と思った時でした。内陣の天井板がはずれていた箇所から、ベンガラ塗料の塗られたニメートルもある箱が落ちてきました。開けてみるとネズミの糞状態、そっと別室に移し、改めてライトで照らして天井裏を覗いてみると、さらに三箱が見つかりました。

すぐに下小俣出身の仏師、お檀家の飯田さんに連絡を取り調査をお願いしました。京都から仏工所の職員さんたちが車で駆けつけて来てくれて、これは大変だ...とそのままだと預かっていってくれました。

明治維新の廃仏毀釈が吹き荒れた際に天井裏に隠され、そのままに埋もれてしまっていたものと考えられます。

先代住職、俊阜上人も学校退職の年齢に達していましたが、どれだけかかるかもわからない修復代金のことは、なんとかなるだろうと、飯田さんとお弟子さんの力で、何年かかっても技術の粋を集めての修復を...と依頼したのです。

二年後に修復されて戻ってきた涅槃図。話を聞いて驚きました。数人の人たちが毎日、毎日、昔の和紙で、細かい紙繕い(こより)をつくり、裏から詰めてはめ込んでゆく作業を繰り返す。糊は現代ものは使わず、米のご飯を煉って、煉って、練り上げて、根気強く、昔の作業そのままに修復し、最後に絵付けを最小限にとどめて、完成させてくださったのです。ですから目・鼻などはかきまわっていません。

(栄子)



令和3年度の
寺世話人の皆さまです
今年度もどうぞ
よろしくお願いいたします

倉野正和さん
太田茂男さん
松家 昇さん
宮西栄子さん
倉野明彦さん
飯田信雄さん

藤原幸夫さん
大西弘土さん
麻畑公生さん
森下 幸さん
倉野幸次さん
奥田悦生さん
椋本卓史さん
奥野正志さん

山西暁彦さん
中村 淳さん
野呂俊文さん
堀江 明さん
川元正春さん
大西 稔さん



野呂俊文さん、麻畑公生さん

よろしくお願ひします!!

長年お世話になっておりました橋爪求さん
に変わりました今年度から、野呂俊文さんに
寺世話をお願いすることになりました。

大西弘土さんは今まで、お一人で30軒の
担当をしていたので、麻畑公生
さんに加わっていただき、分担していただく
ことになりました。

浄土宗新聞を無料でお渡しします!!

浄土宗が決定して、毎月、無料で、「浄土宗新聞」を。お檀家の皆さまにお渡
しできるようになりました。お念仏の教えが広められて2024年で850年、
より多くの方に、全ての人が平安に暮らすことができるお念仏の道を広げたいと
の願いからです。4月号は遅れて届きましたので、5月号と一緒に配っていただ
きます。

4月号読みどころ

なぜお経を称えるのでしょうか…。阿弥陀様の中に仏さまが…。

5月号読みどころ

浄土宗大本山の紹介…。施餓鬼会とは…。仏教のない生活なんて…



令和三年度の護持会費の納入をお願い
します。

☆お願い☆

半期分 三千元 一年分 六千元

花まつりは5月9日にさせていただきます!

法要は10時から住職と詠唱隊の皆さまで行います。
花御堂をおまつりし、甘茶をご用意させていただきます。

甘茶をお分けしますので入用の方はペットボトル等を
お持ちください。自由に入れて行って下さい。

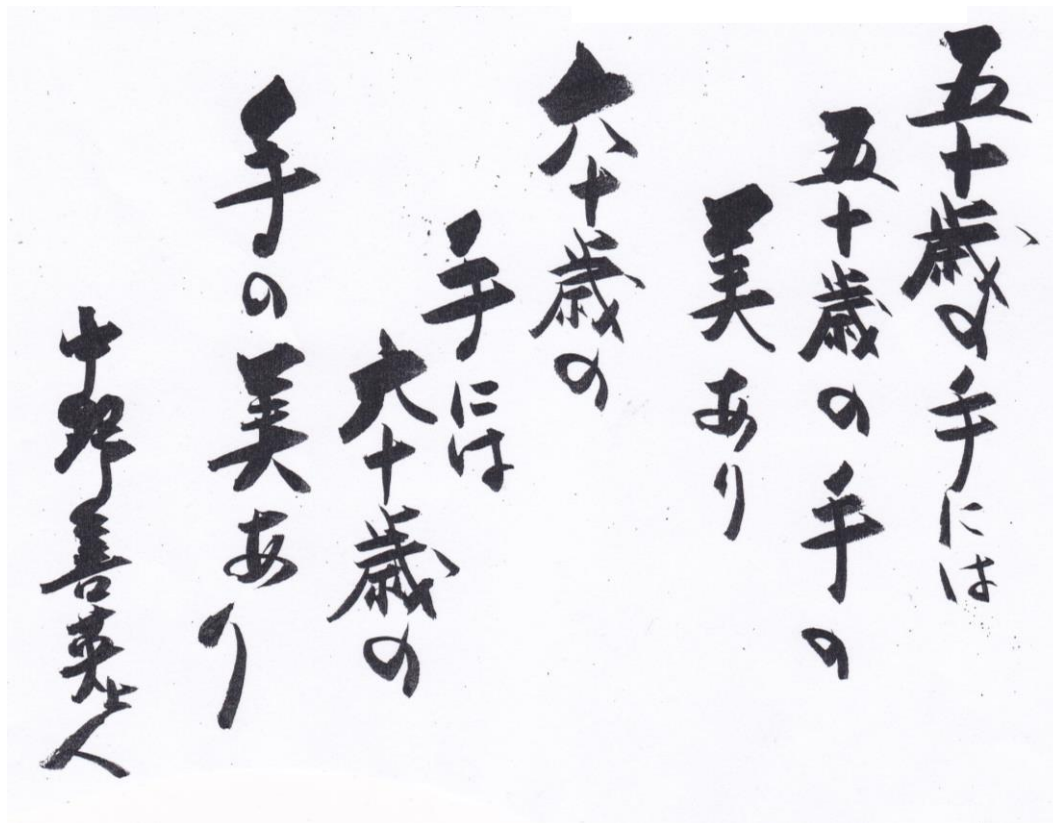
※子ども会は今回は中止させていただきます。
尚6月13日(日)の子ども会は
今のところ実施予定です。



この甘み亡母よみがえる蓬もち

(「知恩」誌五月号「柳壇」に掲載)

奥田 悦生



横井久美子さんは、三十人規模のライブコンサートを「春秋楽座」と名づけて全国に広げていった。伊勢にも「カッパそれぞれ三十人組」がつくられ、小俣町の宮川書店を会場にしてコンサートが開かれた。横井さんが、ちょうど五十歳を迎えた日にあたり、花束が贈られた。

そのとき横井さんから「五十代はゴールデンエイジと思う」という言葉を初めて聞いた。

それから慶蔵院でも春秋楽座が開かれるようになり、ベトナム中・高校生日本語支援を全国に呼びかけるスカラシップの会の誕生、ネパール「サチコール村」でのコンサート、村でのギター指導、音楽ホール建設、その取り組みを本と映画とに完成。七十歳を過ぎた横井さんは「嬉ざかり」とますます元気にコンサートに立ち、毎週金曜日、国会議事堂の前でも歌い、沖繩の辺野古でも歌った。

私事だが、四十数年前になる結婚式の披露宴で、義弟にピアノと歌唱指導をお願いして一緒に唄った歌が「おいで一緒に」だった。パプロ・ネルーダの詩。

「この闘いは きびしいだろう けれどあなたは ゆんだろっ この生き方は きびしいだろう けれどあなたは ゆんだろっ」

「苦しみばかりつづくとも おいで一緒に わたしたちと わたしと同じ あなたたち おいで一緒に わたしたちと」
横井さんが最後に国立で歌ったのもこの歌だった。中野善英上人が手を見つめ続けたように、横井さんは歌を唄い続け、世の中を見つめ続けてきた。